

〈特集補遺「ヴォイスとその周辺」〉

ヴォイスとその周辺 —フランス語—

Voice and related matters -French examples-

秋廣 尚恵
Hisae Akihiro

東京外国語大学大学院総合国際学研究院
Tokyo University of Foreign Studies

要旨: 本稿は、特集論文の補遺として、第17号特集論文「ヴォイスとその周辺」(2012年)における22項目のアンケートについて、フランス語の用例を補うために書かれたものである。

Abstract: This report contributes to the special cross-linguistic study on ‘voice and related matters’ (Journal of the Institute of Language Research 17, Tokyo University of Foreign Studies). The purpose of this paper is to offer the French data for the question of 25 phrases.

キーワード: 他動詞、自動詞、フランス語の代名動詞、受け身構文、使役構文

Keywords: transitive verb, intransitive verb, pronominal verb in French, passive constructions, causative constructions

1. はじめに

本研究は、語研論集の特集例文 第17号「ヴォイスとその周辺」のフランス語データである。このデータはまず秋廣がフランス語に翻訳をし、それを東京外国語大学の博士後期課程の院生のバラカ・コランタン氏にネイティブチェックをしてもらったものである。グロスに関しては、フランス語の特性に合わせ、パリ第7大学の形式言語学研究所が公開している *Abreviation des Gloses morphologiques* を用いた。

また、4-2 の例文については、「私は弟を立たせた」という文であったが、「立つ」という動詞はフランス語では、自動詞ではなく、代名動詞 *se lever* によって表されるため、例文をそのままフランス語で直訳することが難しかったので、別な自動詞「泣く」に変え、例文を、「私は弟を泣かせた」に変更した。

2. フランス語データ

以下、アンケートの番号にフランス語の用例を記載する。

1-a 【自動詞と他動詞の対立】

(風などで) ドアが開いた。

La porte s'est ouverte

DET.DEF.F.SG. 'door' 'open'3.F.SG.MDL.PST.

動作主がなく、自然現象などでドアが自然に開く場合、代名動詞の受け身用法を用いて表現する。



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

1-b 【自動詞と他動詞の対立】

(彼が) ドアを開けた。

Il a ouvert la porte.
PRO.SBJ.3.SG. 'open'3.SG.PST. DET.DEF.F.SG. 'door'

動詞 ouvrir は自動詞用法、他動詞用法のどちらの用法も持つ動詞である。

1-c 【自動詞と他動詞の対立】

(入り口の) ドアが開けられた。

La porte d'entrée a été ouverte.
DET.DEF.F.SG. 'door of entrance' 'be'3.SG.PST. 'open'PTCP.PST.F.SG.

何等かの動作主を想定できる場合には、他動詞の受動態を用いて表す。しかしながら、動作主の表示は義務的ではない。むしろ、往々にして表示されないことが多い。

1-d 【自動詞と他動詞の対立】

ドアが壊れた。

La porte s'est cassée.
DET.DEF.F.SG. 'door' 'break'3.SG.MDL.PST.

ドアが（自然に）壊れるという事態が起きたことを表す場合には、代名動詞の受け身用法を用いる。

2. 【自動詞からの使役、他動詞からの使役】

私は（自分の）弟を泣かせた。

J'ai fait pleurer mon petit frère.
PRO.SBJ.1.SG. 'make'1.SG.PST. 'cry'V.INTR. DET.POSS.1.M.SG. 'younger brother'

自動詞からの使役の場合、自動詞の前に使役動詞 faire をつける。そして自動詞の動作主はその目的語の位置に置かれる。

3. 【自動詞からの使役、他動詞からの使役】

私は（自分の）弟に歌を歌わせた。

J'ai fait chanter à mon petit frère cette chanson.
PRO.SBJ.1.SG. 'make'1.SG.PST. 'chanter'V.TR. 'to' DET.POSS.1.M.SG. 'younger brother' DET.DEM.F.SG. 'song'

他動詞 chanter からの使役の場合には、やはり使役動詞 faire を chanter の前に置く。また chanter の動作主項 mon petit frère を間接目的語の位置に置き、他動詞の被動作主項 cette chanson を目的語の位置におく。

4-a

(遊びたがっている子供に無理やり) 母は子供をパンを買いに行かせた。

La mère a obligé son enfant à aller acheter du pain.
DET.DEF.F.SG. 'mother' 'oblige'3SG.PST. DET.POSS.M.SG. 'child' 'to' 'go' 'buy' PARTF 'bread'

「無理やり…させる」を表現する場合には、使役動詞ではなく、obliger や forcer などの動詞を用いる。

4-b

(遊びに行きたがっているのを見て) 母は子供に遊びに行かせた。

La mère a laissé son enfant aller jouer.
DET.DEF.F.SG 'mother' 'let/leave'3SG.PST DET.POSS.3SG. 'child' 'go' 'play'

許可や放任を表す場合には、使役動詞に laisser 「…させておく」を用いる。この場合には aller jouer が自動詞であるから、その動作主である son enfant は述語動詞の直接目的語の位置に置かれる。

5-a 私は弟に服を着せた。

J' ai habillé mon petit frère.
PRO.SBJ.1SG. 'dress'1SG.PST DET.POSS.1SG 'young brother'

「人が人に服を着せる」という意味の2価動詞は habiller であり、この動詞は主語と直接目的語の両方に「人」を取る。

5-b

私は弟にその服を着させた。

J' ai fait porter ce vêtement à mon petit frère.
PRO.SBJ.1SG 'make'1SG.PST. 'wear' DET.DEM.M.SG. 'clothes' 'to' DET.POSS.M.SG. 'younger brother'

Porter は「人が(服などを)身に着ける」という意味の2価動詞である。これを使役動詞 faire と共に用いることでさらに使役動作主(je)を追加する。動詞 porter の動作主(mon petit frère)は間接目的語に、被動作主(ce vêtement)が目的語に置かれる。

6.

私は弟にその本をあげた。

J' ai donné ce livre à mon petit frère.
PRO.SBJ.1SG. 'give'1SG.PST DET.DEF.M.SG. 'book' 'to' DET.POSS.M.1SG. 'younger brother'

7-a

私は弟に本を読んであげた。

J' ai fait la lecture pour mon petit frère.
PRO.SBJ.1SG. 'make'1SG.PST. DET.DEF.F.SG 'reading' 'for' DET.POSS.F.SG. 'younger brother'

7-b

兄は私に本を読んでくれた。

Mon grand frère a fait la lecture pour moi.
DET.POSS.1MSG 'big brother' 'make'3SG.PST. DET.DEF.F.SG. 'reading' 'for' PRO.1SG.

7-c

私は母に髪を切ってもらった。

Ma mère m' a coupé les cheveux.
DET.POSS.1FSG 'mother' PRO.DAT.1MSG. 'couper'3SG.PST DET.DEF.PL 'hair'PL

Je me suis fait couper les cheveux par ma mère.
PRO.SBJ.1SG. 'couper'MDL.CAUS.1SG.PST DET.DEF.PL. 'hair'PL 'by' DET.POSS.1FSG. 'mother'

この例文については、**ma mère** 「私の母」を主語にする場合と、**je** 「私」を主語にする場合の2つがある。前者はいわゆる他動詞構文である。「母が私の髪を切った」という事態をそのまま表現している。

一方、後者は、使役受動構文である。使役受動構文は、「**se faire** +不定形動詞」の形式をとり、動作主（この場合には **ma mère**）によって行われた動作の利害の影響を主語が被ることを表現する。コンテキストにより「…てもらった（利益を得る）」とも「…されてしまった（被害を受ける）」とも解釈することができる。

8-a 【再帰】

私は（自分の）体を洗った。

Je me suis lavé.
PRO.SBJ.1SG. 'wash myself'1SG.PST

Se laver は代名動詞の再帰用法で、「自分を洗う」という意味である。再起代名詞 **me** はこの例では直接目的語の位置をしめている。

8-b 【再帰】

私は手を洗った。

Je me suis lavé les mains.
PRO.SBJ.1SG. 'wash myself'1SG.PST. DET.DEF.PL 'hand'F.PL

「自分自身の体の一部を洗う」場合には、その一部（この場合には、**les mains** 「手」）を目的語として付加する。したがって再帰代名詞 **me** は間接目的語の位置をしめることになる。また **Je, me** と同一指示の体の部分を表す際、所有形容詞の代わりに定冠詞が用いられる。以下の例でも同様である。

8-c 【再帰】

彼は手を洗った。

Il s'est lavé les mains.
PRO.SBJ.3SG 'wash himself'3SG.PST. DET.DEF.3FPL. 'hand'FPL.

9. 【自利態】

（自分のために）私はその本を買った。

Je me suis acheté ce livre.
PRO.SBJ.1SG. 'buy for myself'1SG.PST. DET.DEM.M.SG 'book'

再帰代名詞の *me* はここでは、間接目的語の機能を果たしている。

10. 【相互】

彼らは (／その人たちは) (互いに) 殴り合っていた。

Ils se sont battus.
PRO.SBJ.3PL 'fight each other' 3PL.PST.

再帰代名詞の *se* はここでは動詞 *battre* 「殴る」の直接目的語の機能を果たしているため、複合過去形にした際、主語の性数に従って、過去分詞の一致が起こる。したがって過去分詞 *battus* は複数形になっている。

11. 【衆動】

その人たちは (みんな一緒に) 街へ行った。

Ces gens sont allés tous ensemble en ville.
DET.DEM.PL 'people' PL 'go' 3PL.PST 'all' 'together' 'in' 'town'

12. 【自発】

その映画は泣ける (その映画を見ると泣いてしまう)。

Ce film fait pleurer.
DET.DEM.M.SG 'film' 'make' 3SG.PRS. 'cry'

13-a 【意志／無意志】

私は卵を割った。

J' ai cassé un oeuf.
PRO.SBJ.1SG 'casser' 1SG.PST DET.INDF.M.SG 'egg'

13-b 【意志／無意志】

(うっかり落として) 私はコップを割った／割ってしまった。

J' ai cassé un verre en le faisant tomber par mégarde.
PRO.SBJ.1SG. 'break' 1SG.PST. DET.INDF.M.SG. 'glass' 'in' PRO.OBJ.M.SG. 'fall' PTCP.PRS 'by' 'mistake'

「うっかり…ってしまった」といった後悔を表すには、動詞だけでは表すことができず、副詞句 *par mégarde* 「うっかりと」などを付加する必要がある。

14-a

きのう私はコーヒーを飲みすぎて (飲みすぎたので) 眠れなかった。

Hier, j' avais pris trop de café et je n'arrivais pas à m'endormir.
'yesterday' PRO.SBJ.1SG 'take' PRT 'too much coffee' 'and' PRO.SBJ.1SG NEG 'arrive' IMPF.PST NEG 'to' 'fall asleep'

14-b

きのう私は仕事がたくさんあって (たくさんあったので) 眠れなかった。

Hier, j' avais trop de travail et je n'ai pas assez dormi.
 'yesterday' PRO.SBJ.1SG 'have' IMPF.PST 'too much work' 'and' PRO.SBJ.1SG NEG 'sleep' PST.well

15. 【全体と部分・主体・一時的】

私は頭が痛い。

J' ai mal à la tête.
 PRO.SBJ.1SG 'have' 'pain' 'to' DET.DEF.FSG 'head'

16. 【全体と部分・主体・恒常的】

彼女は髪が長い。

Elle a les / des cheveux longs.
 PRO.SBJ.3FSG 'have' DET.DEF.PL/DEF.INDF.PL 'hair' PL 'long' PL

この例文のように、客観的に判断できるような形状（長い、短い、黒い、金髪など）に関して述べる場合には、目的語の冠詞は定冠詞 *les* でも部分冠詞 *des* でもどちらでも構わない。しかし、主観的な判断に基づく特徴づけが行われる場合には、もっぱら不定冠詞が用いられる傾向がある。（例：Elle a des cheveux magnifiques 彼女は素晴らしい髪をしている。）

17-a 【全体と部分・対象・接触／結果状態が継続的】

彼は（別の）彼の肩をたたいた。

Il l' a tapé sur l' épaule.
 PRO.SBJ.3SG PRO.OBJ.3SG. 'tap' 3SG.PST 'on' DET.DEF.FSG 'shoulder'

Taper 「人」 sur l' épaule で「誰かの肩をたたく」という表現になる。目的語と同一指示の体の一部は定冠詞で表す。

17-b 【全体と部分・対象・接触／結果状態が継続的】

彼は（別の）彼の腕をつかんだ。

Il l' a attrapé par le bras.
 PRO.SBJ.3SG PRO.OBJ.3SG 'catch' 3SG.PST 'by' DET.DEF.SG. 'arm'

18-a 【知覚構文】

私は彼がやって来るのを見た。

Je l' ai vu venir
 PRO.SBJ.1SG PRO.OBJ.3SG. 'see' 1SG.PST 'come'

18-b 【知覚構文】

私は彼が今日来ることを知っている。

Je sais qu' il vient aujourd'hui.
 PRO.SBJ.1SG. 'know' COMPL PRO.SBJ.3SG 'come' 'today'

19. 【引用文中の再帰】

彼は自分が勝つと思った。

Il pensait pouvoir gagner.
PRO.SBJ.3SG. 'think'IMPF.PST. 'be able to' 'win'

20-a 【部分的に及ぶ動作と全体に及ぶ動作】

私は（コップの）水（の一部）を飲んだ。

J' ai bu de l' eau dans le verre.
PRO.SBJ.1SG 'drink'1SG.PST DET.PARTF 'water' 'in' DET.DEF.M.SG 'glass'

20-b 【部分的に及ぶ動作と全体に及ぶ動作】

私は（コップの）水を全部飲んだ。

J' ai bu l' eau dans le verre.
PRO.SBJ.1SG 'drink'PST DET.DEF.SG 'water' 'in' DET.DEF.M.SG 'glass'

21. 【恒常的な否定文】

彼は肉を食べない。

Il ne mange pas de viande.
PRO.SBJ.3SG NEG 'eat'3SG.PRS NEG 'of' 'meat'

不定指示の目的語は否定文では「de+目的語」になるという規則がある。

22-a 【感覚述語・非人称文／感覚主体の存在が感じられない、より客観的な表現】

今日は寒い。

Aujourd'hui il fait froid.
'today' N.PRO.SBJ 'make'3SG.PRS 'cold'

天候や時間表現、感情表現であっても感覚主体が感じられない客観的な事実を表す場合には、非人称構文を用いる。

22-b 【感覚述語・非人称文／斜格主語】

私は（何だか）寒い（私には寒く感じる）。

J' ai froid.
PRO.SBJ.1SG 'have'1SG.PRS 'cold'

感覚主体が主語となる人称構文においては、動詞は avoir froid（寒い）が用いられる。

23. 【（感情主体が受動的である）感情述語】

人がとても多かったことに私は驚いた。

J' étais étonné parce qu' il y avait beaucoup de monde.
PRO.SBJ.1SG 'be'IMPF.PST 'surprised' SUB.'because' 'there are'IMPF.PST 'lot of people'

24. 【現象文・現場での直接体験】

雨が降り始めた。

Il a commencé à pleuvoir.

N.PRO.SBJ 'begin' PST. 'to' 'rain'

25. 【中間構文】

この本はよく売れる。

Ce livre se vend bien.

DET.DEM.M.SG 'book' 'sell'.3.SG. MDLPRS. 'well'

代名動詞の中道態による表現。主語の特性を表す表現の中でよく用いられる。Ce vin se boit frais (このワインは冷たくして飲む) など。

参考文献

Abreviation des Gloses morphologiques (パリ第7大学 形式言語学研究所)

http://www.llf.cnrs.fr/sites/llf.cnrs.fr/files/statiques/Abreviations_gloses-fra.pdf 2019年12月23日閲覧

執筆者連絡先 : hisae-akihiro@tufs.ac.jp

原稿受理 : 2019年12月23日